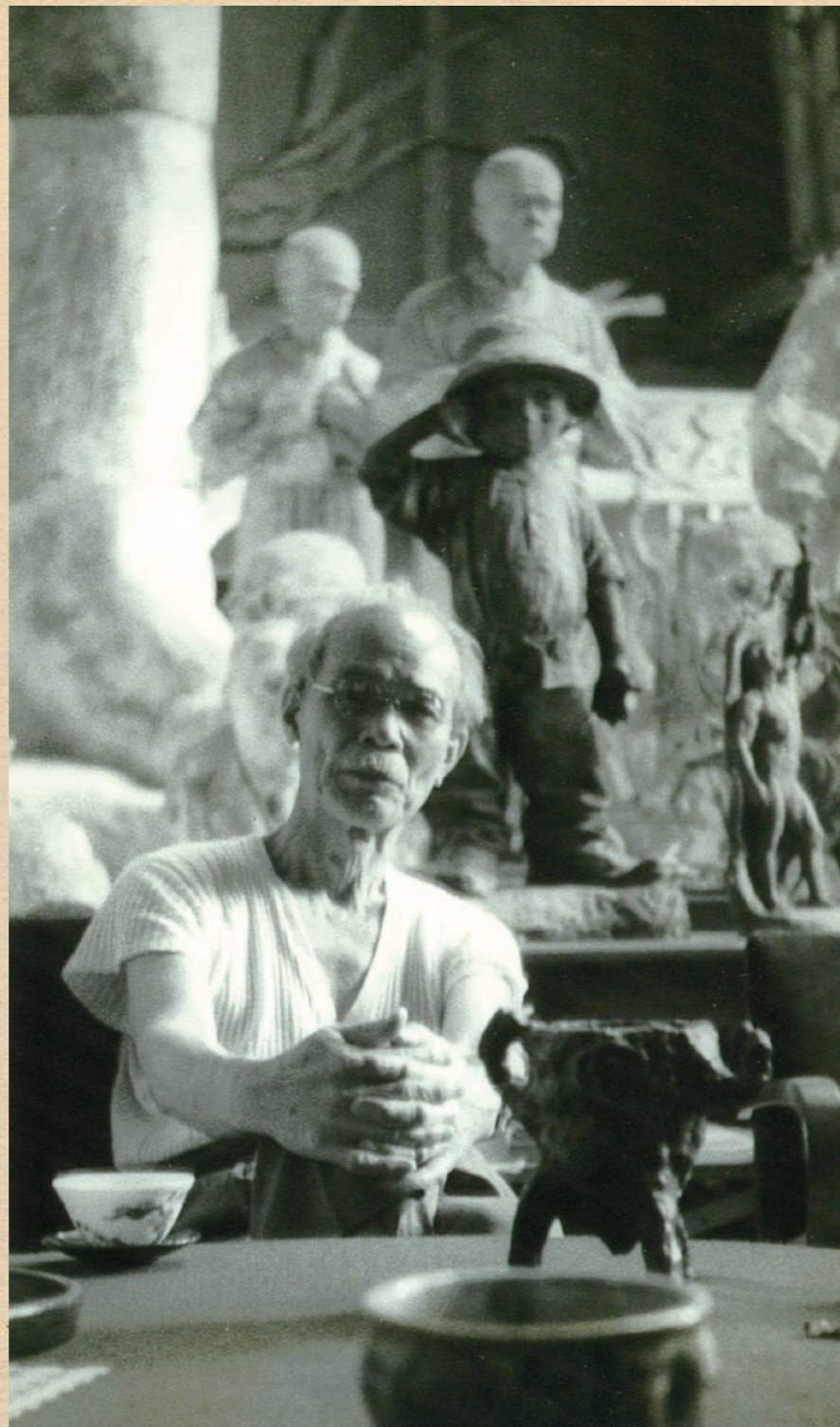


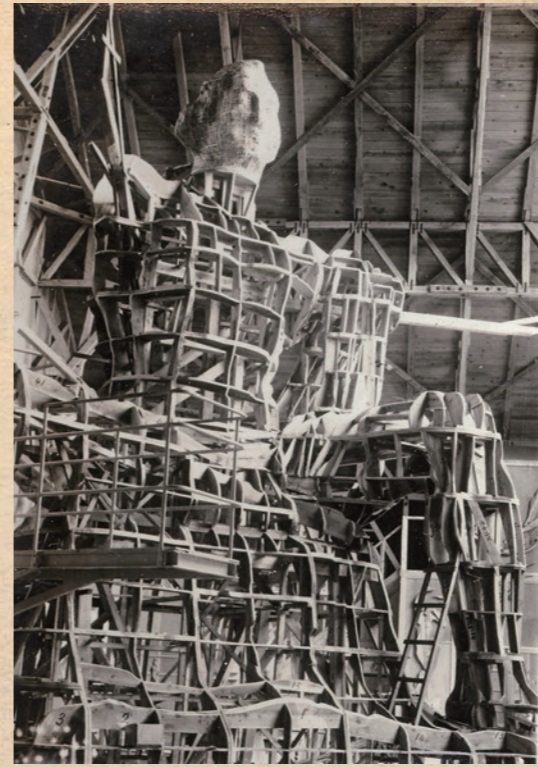
二十四節気は、半月ごとの季節の変化を示しています。さらに5〜6日ずつ分けて気象や動植物の変化を知らせるのが七十二候です。

平成29年
2017 8月

1 火	吉祥寺パルコ コラボスタンプラリー (~8/27)	つちうるみうてむしあつし 土潤溽暑
2 水		たいうときどきあこなう 大雨時行
3 木		大暑 たいしよ
4 金		
5 土		
6 日		
7 月 休園日		すずみせいたる 涼風至
8 火		
9 水		
10 木		
11 金		
12 土		ひぐらしなく 寒蟬鳴
13 日		立秋 りっしゅう
14 月		
15 火		
16 水		
17 木		
18 金		ふかきりまとう 蒙霧升降
19 土		
20 日		
21 月 休園日		
22 火		
23 水		わたのはなしべひらく 綿樹開
24 木		処暑 しょしょ
25 金		
26 土		
27 日		
28 月 休園日		てんちはじめてさひし 天地始肅
29 火		
30 水		
31 木		



北村西望 アトリエ館で



平和祈念像制作過程

戦争と平和祈念像

第二次世界大戦中、1942（昭和 17）年に井の頭自然文化園は開園しました。戦闘機の代替燃料として園内の大きなマツの根元付近から松脂が採られました。現在でも戦争の傷跡として、忘れてはならないものの一つとして、園内には数本このマツが残っています。

戦後、1952（昭和 27）年に長崎市から平和祈念像の制作の依頼を受けた彫刻家北村西望が、東京都に全作品を寄贈することを条件に井の頭自然文化園内にアトリエを構えました。多くの作品が東京都に寄贈され 1958（昭和 33）年に園内で一般公開されました。晩年も園内のアトリエ兼住居（現アトリエ館）で制作を続け、1987（昭和 62）年に 102 歳で亡くなりました。そして 1993（平成 5）年に現在の彫刻園がオープンしました。長崎の平和祈念像の原型は、彫刻園の A 館でご覧いただけます。

